



# 「臥竜鳳雛」



\*タイトルの意味は？調べてみよう

2021・12・23 第53号

学年主任 森本 聡一郎

今年のテーマ：3年間の「自分磨きの旅」を感動に満ちたものにしよう

最上級生としての自覚ある行動と進路実現への挑戦

今月のテーマ：今が一番しんどい時。でも、それが成長しているときです。学年全体で乗り越えよう。チーム74回生！



## 1. 「今一度、志の火を高く掲げよ！」

3年生の2学期も明日で終了するが、我々は今もなお後輩の目標となる存在であるだろうか。鳳鳴生として模範たる生活が出来ているだろうか。ここまで来ることが出来たことへの感謝は胸に刻まれているだろうか。

最高学年になるに当たって、我々の心に点(とも)したはずの高き志の火はまだ燃えているだろうか。光や輝きを失って、燻(くすぶ)ってはいないだろうか。安易な自由や放恣(ほうし)に流されてはいまいか。自らを律することを忘れ、弱く醜い自分を晒(さら)してはいまいか。虚飾ではなく、真の輝きを大切にしようではないか。

寒く厳しい季節、覚悟の季節だからこそ、努めて凜(りん)たる姿勢を貫きたいものである。

### 流されず、踊らされず、しっかりと先を見よ！

寒い季節が来ましたが、町中は何やら騒がしい時期になります。でも、受験生諸君は、そのような喧噪に惑わされてはいけません。大人が浮かれている様を「何故、それほど騒ぐのだろう」と二ヒルな一瞥(いちべつ)をくれて、再び机に目を向けるのです。一生のうち、最低でも今だけは勉強しておかなければいけない時期です。ここを外せば、多くの人にとってもはや勉強の機会など幾つあることやら。そして、この時期を逃してから、いくら勉強したところでその効率の悪さは計り知れません。

合格内定者の人も然(しか)り、4月から遊びの人生が待っているのなら、何をしてもとやかく言いませんが、もし、学習の場に身を置こうとしているのなら、今のままで良いわけがありません。かなりの危機感を持たないと、1年も持たずに辞めてしまうことになりかねません。ましてや、指定校推薦を受けた者にとっては、継続して勉強しないということは契約違反です。背負っている責任を忘れないようにしてください。

いずれにせよ63万人と予想される全国の受験者が、この時期に能天気な生活をしているはずがありませんので、正しい認識のもとでこの冬を過ごしてください。

### 「注意事項」



何事にも初めがあります。3年生として初めて経験することもありますので、以下の事柄をよく読んで理解しておいてください。「知らなかった」のないように！

#### ① 進級(卒業)規定の条件

進級(卒業)しなければ進路の内定は全て無効です。

- ・当該学年の単位の修得が認められない科目数が5科目以上又は単位数の合計が12単位以上の生徒は追認考査を受けることができない。
- ・各科目や特別活動や総合的な探究の履修が認められた者。また、欠席時数の超過も進級（卒業）条件に抵触します。

## ②自動車教習所

- ・就職内定者（公務員内定者を含む）に関しては、自動車教習開始を認めています。それ以外の大学（短大）・専門学校等への進学内定者に関しては、来年2月1日以前の入所及び教習は厳禁ですから間違えないようにしてください。

## ③アルバイト

- ・アルバイトに関しては、郵便局以外は特別事情がない限り認めていません。冬季休業中に郵便局のアルバイトを考えている人は、地元郵便局にまだ枠があるのか大至急確認してください。無断アルバイトは絶対禁止です。進学内定者は学校の成績に問題がなければ、2月1日以降の一般のアルバイトは認められます。

（注）②・③については1月中旬から校内での申請を受付します。「届け出が必要」ということを忘れないで

## ④健康管理

- ・インフルエンザやコロナウイルスは非常に感染力が強いので十分注意してください。これらの感染症に関しては、高校では出席停止の扱いですが、受験では一切配慮されませんので、罹るだけ損です。受験料まで払っておきながら、受験すらできない…というのは悲しいですね。



## 受験経験者及び受験予定の諸君へ

冬季補習計画について

12月27日（月）～28日（火）

1月4日（火）～6日（木）

※これ以外に塾や予備校で学習する人は、早めに計画を立てること

### 1) 礼を失することのないように

推薦入試を受験する人が結構な数に上がっています。自己推薦文や小論文の添削、面接指導、実技指導など、大変多くの先生方に無理をお願いしている人もいます。自分の都合でお願いするだけしておいて、試験後は結果報告にも行かない。などという恩知らずや不義理はしてはいませんか。合格した時は嬉しそうに報告に行くが、不合格なら挨拶もしないというのでは困ります。そこまでは酷くはないと思うのですが、やはり心配です。もう一度、どなたにお世話になったのか、きちんとお礼を言えたのかを確認してください。不合格でも「お世話になりました」と言える人は、当然とは言え、かなり立派だと思います。

### 2) チームとしての本番はこれから

進路未決定者が戦っているのは当たり前ですが、進路内定者もサポートの仕事ができていますか。クラスや学年全体の受験に対する雰囲気落とさないように努めていますか。進路が決まれば、どうしても気分は緩みがちになるのは当然でしょうが、「自分だけ良ければ」というものではないはず。チームの士気が上がるように、自分なりにできることを考えてください。



指定校の推薦を受けてから、小テストや定期考査の成績が落ちている人が多く見られます。これは学年全体を裏切っていることになりませんか。少なくとも推薦さ

れなかった人たちは、そのようなキミ達を見てム力つくでしょうね。反対に、9月第1週に早々と進路決定した人が、その後も小テストや定期考査に一切の手抜きをせず頑張っているのは、当然とはいえ、立派だと思います。現役受験生の生徒達よりも、高い意識で高い得点を残し続けているのですから、価値があります。

レースから、どんどん選手が抜けていく中で、走り続けることは大変です。そんなことで泣き言を言うなら受験生の資格などありません。それでも、周囲のみんなが走り続けてくれるなら、当事者は良き緊張感を保てるでしょう。一人二人が頑張るのではなく、集団として力が出せるように、最後までみんなで走り続けましょう。

### 3) 不合格は挫折ではないし、推薦入試が全てではない

きちんと受験人口が割り振られたような高校入試を受けても、それは「受験」ではない。その意味で、キミ達は生まれて初めての「受験」を今経験しているのだ。

受験である以上、合格もあれば、当然不合格もある。基本的に相手との相対的な勝負なのだから、どの年度にどの大学を、誰を相手にして受験しているのかで、結果は大きく変わるだろう。キミ達がいくら優秀でも、それよりも上の相手と勝負しては勝てないし、キミ達がいくらしくじっても、相手がそれよりしくじれば勝ってしまうことになる。受験には合格もあれば、不合格はつきものである。それを挫折と感じるなら、それは世の中を甘く見過ぎている。世の中には上には上があるのだ。すごい人はいるものだ。それを弁(わきま)えた上で、なお頑張っていく自分がいればいいのである。だから、落ちて泣くな！むしろ、そのような時の方が強くなれるだろう。悔し泣きをしたことがないような人生に値打ちはないのだ。

## 名言

### 天には星あり、地には花あり、人には愛なかるべからず

ゲーテ(1885-1976 作家)

寒い冬だからこそ、温かい気持ちを持っておきたいものである。どんなに追い込まれても、少しなりとも周囲のことを考えられるだけの余裕は持っておきたいものである。やはり、人の心には愛が必要でしょう。それは「愛される」愛ではなく、「人を愛する」愛です。時節柄、主イエスの示し給うたアガペー(=自己犠牲的な無償の愛)を求めているわけではありません。ほんの一言、ほんの少しの行為で十分だと思います。

ある日のこと、寒い教室での補習が終わり、もう下校時刻となって辺りは真っ暗。みんなが「やれやれ一息」と思う時間帯に、「今日は金曜日だから…」と黒板消しクリナーの袋を水洗いしてくれる人がいました。チョークダストまみれの袋を綺麗にするのは、この人の習慣なのですが、しかし、季節もここまで来ると廊下は冷蔵庫状態。そのような寒気の中、何度も何度もゴシゴシ水洗いしてくれた彼の手は、当然のように手は真っ赤でした。

「地の塩、世の光」とはこういう人のことなのでしょう。

目立つ派手な灯りも結構ですが、一隅を照らす灯(ともしび)というのには味がありますね。



## ※連絡

冬季休業中も自習教室を開放します。(3-1, W3-1)

時間は(8:30~17:00)です。

登校時に学年の先生に一声かけてください。(暖房使用のため)